

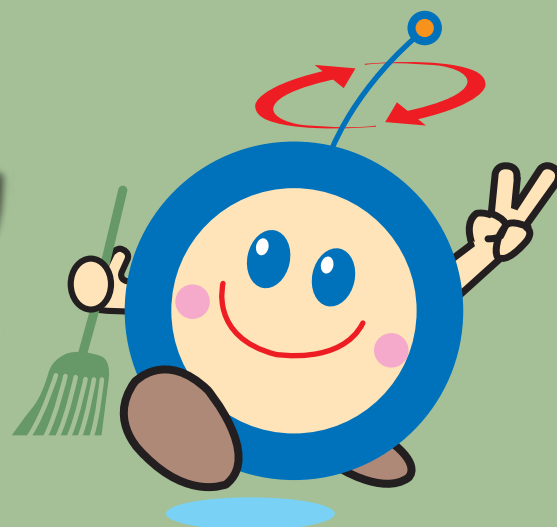
循環型社会情報誌

# ばってん

## リサイクルくまもと

NO.37

平成22年  
3月発行



熊本県ごみゼロシンボルマスコット  
「ゼロッピー」

地球のためにライフスタイルをチェンジ！

ひとりひとりのちょっとした行動が**大きな力**になります。

### お買い物から始まる**3R**

～持続可能な社会をつくるエコな買い物～

(「平成21年度熊本県ごみゼロ推進県民大会」にて)

#### 3Rとは

「循環型社会形成推進基本法」での廃棄物処理の優先順位です

- 1 最優先はReduce(リデュース)**  
『ごみ回避・小型・軽量化、薄肉化、長期使用など』  
「入り口を制す」  
つまり、ごみを出さないようにすることが大事。家庭から出されるごみの60%が「容器包装」
- 2 Reuse(リユース)**『再使用、修理、修繕』
- 3 Recycle(リサイクル)**『再生利用、原料に戻す』

#### 具体的には

消費者の役割

(選ぶのは消費者 買い物には責任がある)

- ごみになるものは買わない、もらわない(レジ袋 → マイバッグ)
  - リユースできるものを最優先する
  - 買ってしまったら、最後まで責任をもつ
  - 事業者、市町村との連携  
このような行動をするには、消費者が情報をもつことが大切
- 消費者は環境負荷の少ない製品・サービスを選んでもらう手助けとなる「環境ラベル」のついた商品を選ぶことが重要。

#### チェンジ！

○消費者が「気づく、感じる、共感する、知る、考える、行動する」5感を使って商品を購入することが、ライフスタイルの変革の推進につながる。

日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会  
常任理事 辰巳菊子 氏の講演より



九州7県共同で、平成19年度からマイバッグキャンペーンを実施し、標語を募集しています。今年度は、九州全体で9,812点、熊本県では5,067点の応募がありました。

熊本県マイバッグキャンペーン

【ゼロッピー大賞 最優秀賞(1点)】

**マイバッグ 地球にやさしい 福袋**  
富田 理恵(とみた りえ)さん (山鹿市)

【ゼロッピー賞 優秀賞 小学生の部(1点)】

**マイバッグ 使ってなろう エコ達人**  
松永 梨奈(まつなが りな)さん (八代市太田郷小学校6年)

【ゼロッピー賞 優秀賞 中・高校生の部(1点)】

**マイバッグ 続けることで エコライフ**  
赤池 桃子(あかいかい ももこ)さん(熊本県立湧心館高等学校2年)

【ゼロッピー賞 優秀賞 一般の部(1点)】

**マイバッグ 地球の未来を 入れるもの**  
立山 英之(たてやま ひでゆき)さん (天草市)

九州統一マイバッグキャンペーン

【優秀賞(小学生の部:九州で4点)】

**マイバッグ 使って地球も ニッコニコ**

奥苑 美稀(おくその みき)さん(人吉市立中原小学校1年)



表彰の様子



受賞者  
(県民大会参加者3名)



九州統一マイバッグキャンペーン  
シンボルマーク